



市町村の着実な歩みに向けて

全国町村議会議長会
会長 櫻井 正人

(宮城県利府町議会議長)

地方自治の振興発展と住民福祉の向上のため、日夜、献身的に職務に遂行されておられる皆様に対しまして心から敬意と感謝を申し上げます。

私は、この7月、全国町村議会議長会会長を拝命いたしました。昨今の市町村が置かれている現状について考えを述べたいと存じます。

近年は、全国各地において毎年のように大きな自然災害が発生し、その報道に接するたびに心を痛めています。

6年余を経過してもなお多くの課題が残る東日本大震災、昨年の熊本地震、鳥取県中部地震や本年7月の九州北部豪雨災害以降も全国各地で発生している水害等、自然災害に対応した防災・減災対策は急務であります。

私の町も東日本大震災では津波が襲来し、甚大な被害を受けました。

他の被災市町村と同様、一日も早い復旧・復興に向け取り組んで参りましたが、その間、全国の皆様には、励ましのお言葉と温かいご支援を賜り、大変勇気づけられたことが思い出されます。

今でも全国各地で復興に向けて職務に遂行されている皆様のご労苦に対し、心から敬意を表するとともに、本会としましても市町村の声を国政に届けるべく、被災地に対する財政措置をはじめ、万全の支援を求めて参りたいと考えます。

また、我が国の少子高齢化・人口減少対策は喫緊の課題であります。

現在、国と地方が一体となり、推し進めている地方創生の実現は、市町村にとりまして社会構造の変化に対応した持続可能な地域社会構築のため、是が非でも成し得なければなりません。

私どもは、どの地域、どの世代においても安心して生活できる魅力ある地域社会を創生できるよう、国と密に連携し地方創生を更に深化させる取り組みに邁進して参りたいと存じます。

ご案内のとおり、私ども町村の多くは、人口が少なく財政的にも小規模な団体ではありますが、安全安心な食料・水の供給、国土保全に務め、風光明媚な原風景を守りながら、伝統や文化を後世に伝承する役割を果たしています。

今後、我が国が継続的な発展を遂げていくためには、都市と農山漁村が共生しうる社会を育てていくことが必要不可欠であり、本会の使命であると考えております。

全国市町村振興協会では、まちづくり事業等への資金貸付、全国的視野に立った地域振興策への助成、災害対策関連支援といった事業を通じ、市町村の振興発展への寄与は多岐にわたり、その役割は今後ますます重要となってくるものと確信しております。

地方自治法施行70周年の年に当たり、私どもも、全国の各地域が着実な歩みを進めていくことができるよう、地域の実情を最も熟知されている皆様方とともに、市町村の振興発展に向け、今後とも全力を傾注して参る所存であります。

終わりに、地方自治に携わる皆様のご活躍を祈念しまして挨拶といたします。